



## にんげん ほね なんぼん 人間の骨は何本あるの

### ほね かず ひと とし 骨の数はその人の年によってちがう

にんげん ほね かず ほね かず いったい  
人間の骨の数は、200とも206ともいわれていますが、このように数が一定していないのは、ほね かず ひと とし  
骨の数は、その人の年によってちがうからです。

こ おとな ほね かず おお  
子どもは、大人よりも骨の数が多いのですが、これは、子どものころには、はなればなれ  
になっていた骨が、大人になると、くっついて一つになっている場合があるためです。

こし こつ むね ちゅうおう きょうこつ てあし ほね  
腰にある骨ばんや、胸の中央にある胸骨や、手足の骨などがそうです。

にんげん ほね かず せいかく なんこ  
そのため、人間の骨の数は、正確には何個ということではできませんので、およそ200個  
くらいと、おぼ  
覚えておくといいようです。

### ほね 骨もどんどんつくりかえられている

ほね からだ ささ  
骨は、わたしたちの体を支えるはたらきをしています。ほね かる  
骨は、じょうぶで軽いもの  
が、それは、なか  
中がスポンジのようになっていて、こつ  
骨ずいとよばれるやわらかいものが入  
っているからです。こつ  
骨ずいは、せつけつきゅう はつけつきゅう  
赤血球や白血球という、けつえき たいせつ せいぶん  
血液の大切な成分をつくっているところ  
で、ほね  
骨は、その大切な部分を守る役目もしています。

ほね  
そして、このかたい骨も、ほかの部分と同じように細胞できており、あたらし  
新しい細胞が  
できたり、ふる さいぼう  
古い細胞をこわして捨てたりして、せいちょう  
成長したり、へんか  
変化したりしているのです。

(監修・保志 宏)

